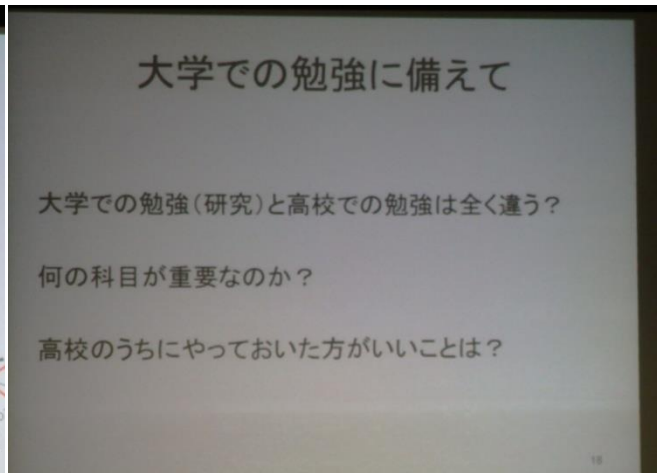


京都大学出前授業

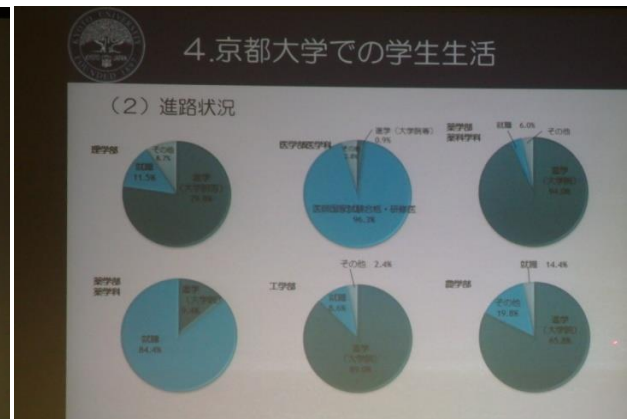
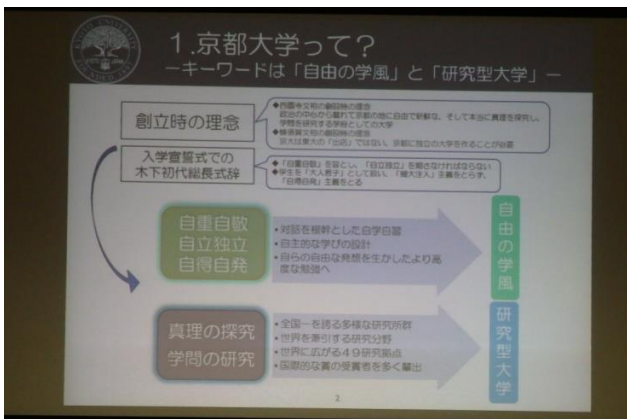
11月9日（月）放課後、「京都大学出前授業」が実施され、1年生26名、2年生9名、が受講しました。講師は、京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻博士後期課程2回生の五味良太先生で、テーマは、「微生物と環境問題」でした。専門的な研究の内容から、研究者として「論文」に成果を発表していく過程やその大変さ、高校生でやっておくべきことなど、幅広くお話いただきました。講演後には、次々と質問に手が上がり、皆、積極的に参加しました。五味先生どうもありがとうございました。

【講演の様子】





【京都大学 教育推進・学生支援部入試企画課の西谷健司様による大学紹介】



【生徒の感想抄録】

- ・ 勉強と研究の違いなど、ご自身の研究を示しながら具体的に話をしてくださったので大学のイメージがとてもわかりました。
- ・ 京都大学の特徴、大学の仕組みがよくわかった。
- ・ 論文の大変さがわかった。
- ・ 京大に行きたくなった。
- ・ 自分の知らない世界が広がった。

- ・実際の大学での生活や、最近の研究の状況などは、目指す分野が違ってもととてもためになりました。
- ・大学生活や、進路についてのイメージが漠然としていて不安だったのですが、今回の授業で具体的な説明を受け、今までより目指すものが見えたように思います。
- ・京都大学の良さについて分かりました。特に、私は工学部を目指しているので、良い話が聞けたと思います。また、工学部の中にもいろいろな方向（物理科学系、生物系、化学系）があることがわかりました。
- ・現在の環境問題のほとんどに微生物が関係していることがわかり、微生物に興味を持ちました。
- ・大学院の研究から普段の生活まで様々なことを知ることができた点がよかったです。
- ・大学で好きなことを学ぶために、今、様々な分野の勉強を頑張らないといけないのだと感じた。自分の苦手な分野にも力を入れていきたいと思った。